

ご存じですか!シェイクアウト訓練

出典:効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

11月5日の訓練には参加しましたか?

シェイクアウト訓練とは、2008年にアメリカ合衆国の南カリフォルニア州で生まれた、地震の一斉防災訓練です。

シェイクアウト(ShakeOut)意味は、「地震を振り払え」、「地震を吹き飛ばせ」といった意味の造語で、英語の「Shake out of…(…から～を振り払うという意味)」をもとに造られました。

訓練は、例えば事前に専用サイトに登録した参加者が、指定日時に届く電子メールを合図にして、「自宅や学校、仕事先や外出先等そのときにいる場所」で訓練を行います。「そのときにいる場所」で地震が発生したと想定してとっさに身を守るという、従来の防災訓練とは異なる訓練です。

地震による被害は、地震動(地震の揺れ)そのものよりも、揺れによって生じた家屋の倒壊、家具の転倒・落下・移動、落下物への接触などによるものが多くなっています。

また、地震でケガをした人の行動分析結果を見ると、その多くが地震発生直後に移動してケガをしていることが分かります(阪神淡路大震災で亡くなった人の約8割が、家屋内で家具の転倒や落下物による圧死等が原因と云われています)。

訓練で「Drop」、「Cover」、「Hold on」が重視されているのは、地震被害を最小限に抑えるために、地震発生直後は「姿勢を低くして、頭を守り、動かない」ことが人的減災では基本だからです。



【日頃から意識しておくこと】

・同時に自宅のリビングや特に寝室の家具の転倒や落下物について、転倒防止対策や倒れても大丈夫な場所への配置換え等の対策を行えているかの確認をする。

- ・ 家具等が散乱する中での家屋からの脱出経路の想定しておく。
 - ・ 火元や電気(ブレーカー)の遮断については、ガス漏れや使用暖房器具により対応が変わるので、発災時に慌てないよう日頃からシュミレーションしておく。
 - ・ 非常持出物品(袋、バッグ等)の準備、確認(内容品の入替や見直し)
 - ・ 自治会等で定められている、集団での避難行動の確認
- など、地震発生直後に取るべき行動、適切な避難行動を家族で確認しておきましょう。